

## 文部科学省より SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の第Ⅲ期指定を受けました！

文部科学省は、令和3年3月23日に「令和3年度スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校の内定について」を発表し、本校は継続してⅢ期目（今後5年間）の指定校の内定を受けました。

文部科学省が指定する「SSH」は、先進的な科学技術、理科数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組です。日本が厳しい国際競争に勝ち抜き、持続的に発展するためには、科学技術イノベーションを起こしていくことが不可欠であるとしています。

こうした情勢を受け、本校「SSH」Ⅲ期指定の研究開発課題を「会津の地域資源を活用した、会津から世界を創造する科学技術者の育成」として掲げ、地元会津大学を含めた大学、地元企業、研究施設、地域の小中高等学校と連携し、様々な事業に取り組みます。Ⅰ・Ⅱ期までの取組をベースとしながらも、中高一貫校としての本校の強みや教科間連携、学校全体での組織的な指導体制等を確立した上で、Ⅲ期指定校にふさわしい研究開発を行ってまいります。

また、情報化やグローバル化など急激な社会変化の中でも、生徒たちに、未来の担い手となるための必要な知識や力を確実に備えることのできる学校教育の実現を目指し、学習指導要領の改訂が行われました。中学校では、今年度より全面実施、高等学校では、来年度より年次進行で実施となります。大きな特徴は、高等学校で「総合的な学習の時間」が新しく「総合的な探究の時間」となったことと思っています。探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することが目標です。どのような「総合的な探究の時間」を提供できるかが、学校の特徴であり、「SSH」事業と合わせた「SSH 探究」が本校での学びの中核であると考えています。

本校での学びにより、生徒たちが、高校の進路活動だけではなく、その後生涯にわたって役立つ資質・能力を身に付けて欲しいと願っています。

校長 味原正美

## 会津学鳳高等学校・中学校の SSH 事業について

大きな柱として「サステナビリティ」「Think Globally Act Locally」をテーマに、併設型中高一貫教育校である利点を生かして、中学から高校までの6年間の系統的で効率的に探究活動を進めていきます。探究活動を通して、自分で分からないことや問題に感じることを解消することで、これから待ち受ける困難な社会問題を乗り越えていくのに必要な自ら考える力を培っていきます。



また、数理系の高度な活動を踏まえながら、国際性と実践的な語学力を育成し、女性研究者に対する理解促進、各種発表会への挑戦、地域の小学生・中学生の理科的素養の向上と高校生の表現力と主体性の育成していく事業を行ってまいります。

これらの事業を通して、「課題発見力」「創造的思考力」「情報活用能力」「コミュニケーション力」「グローバルリーダーシップ」の5つの資質・能力を身に付けることが目標です。

SSH 事業を通して、授業だけでは味わえない体験をしていきましょう！